

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度 病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、発生予察注意報第6号(大豆・野菜類のハスモンヨトウ)を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第6号

1 農作物名 大豆, 野菜類

2 病害虫名 ハスモンヨトウ

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多

4 注意報発令の根拠

(1) 9月14~25日の巡回調査での発生ほ場率は、根深ネギで83%(平成50%)、キャベツでは48%(平成28%)と平成より高く、卵塊~孵化直後の若齢幼虫が多く見られた(表1)。

(2) 大豆での発生程度は低かったが、若齢幼虫が多く見られ、今後被害の増加が予想される。

(3) 県内各地のフェロモントラップは9月中旬以降増加傾向にある(図1)。

(4) 向こう1か月の天候は、平成と同様に晴れの日が多く、気温は高いと予報されている。

5 防除上注意すべき事項

(1) 卵塊や分散前の若齢幼虫を発見したら、速やかに寄生葉を摘取り処分する。

(2) 施設では換気部、出入口に防虫網を設置し、成虫の侵入防止に努める。

(3) 若齢幼虫は集団で表皮を残して食害し、白変葉を生じるので、これを目安に防除する。特に生育初期のマメ類は被害が大きいため初期防除に努める。

(4) 防除は薬剤の効果が高い若齢幼虫期に行う。

(5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤とのローテーション散布に努める。

表1 ハスモンヨトウの発生ほ場率 (%)

作物名	本年	前年	平成
根深ネギ	83	83	50
キャベツ	48	25	28
ダイコン	0	0	7
サヤインゲン	75	25	—

9月中~下旬調査

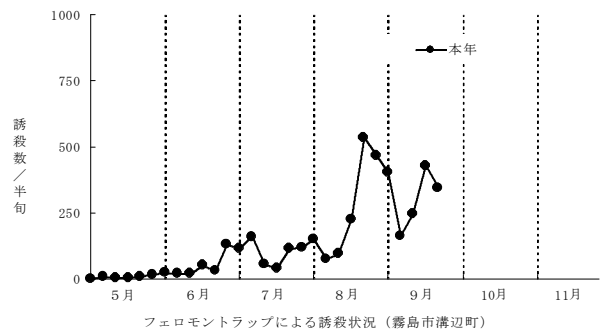
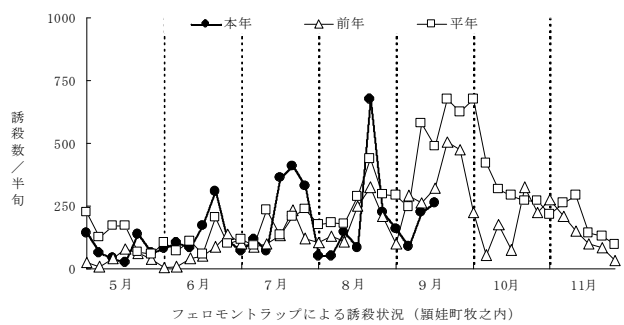
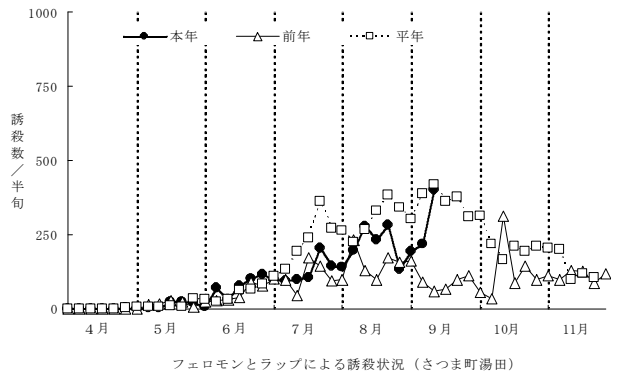
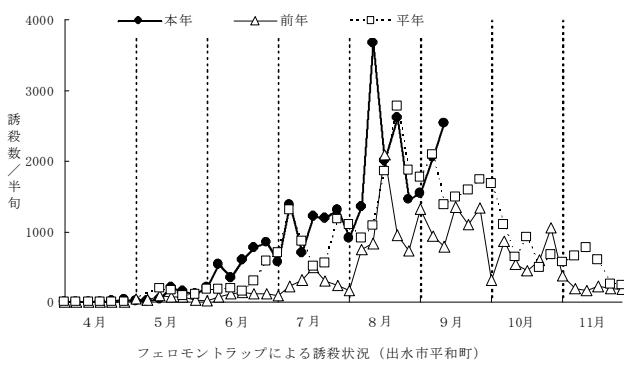
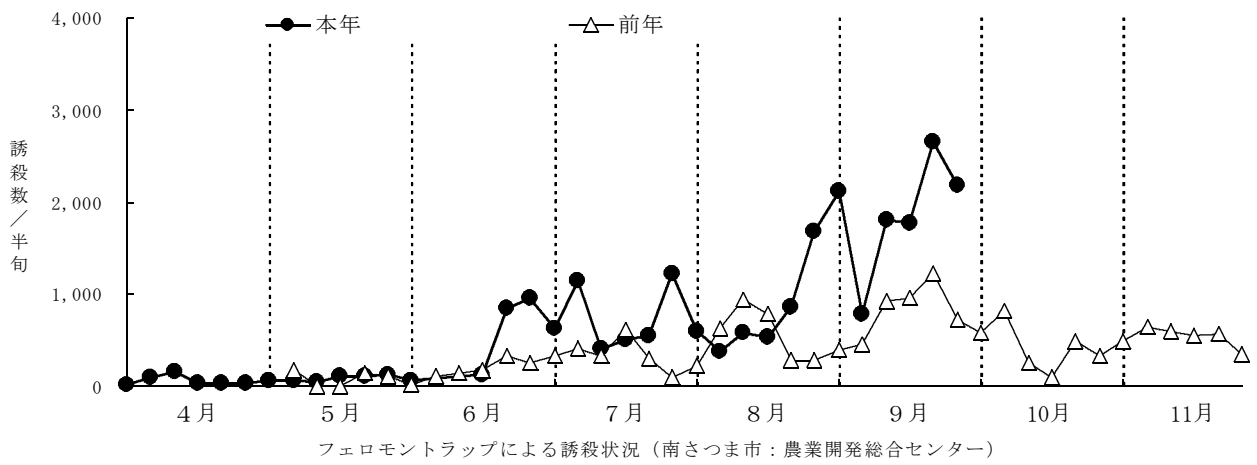
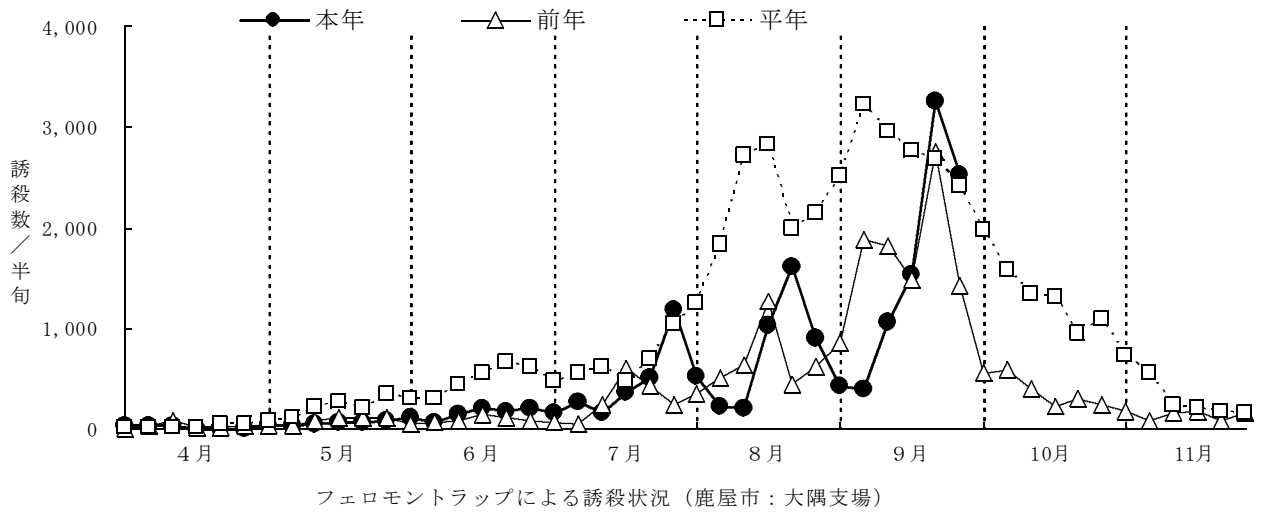


図1 フェロモントラップによる誘殺状況（県内各地）